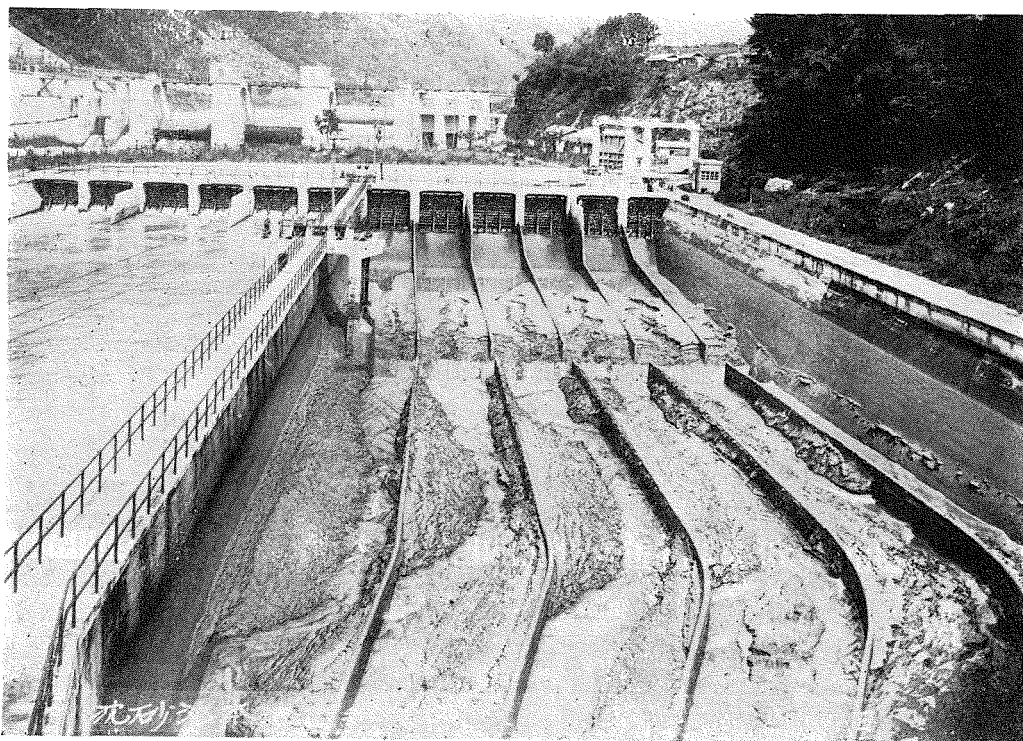


關東水力電氣會社佐久發電所
綾戸取入口沈砂池動作の實況



六月末より降り始めた雨は、漸次に其量を増し八月二日には、利根本流は綾戸に於て三萬二千個に及んだ。此間綾戸取水口より取入れたる水は平均720個にして、沈砂池に沈澱したるシルトは其量次の如くである。

	本流流量(立尺)	沈澱土砂(平均)寸
6月27日	7,000	3.3
6月30日	600	5.0
7月 5日	7,500	6.6
7月11日	12,000	13.2
7月26日	9,400	16.5
7月28日	9,000	19.8
8月 1日	32,000	42.9

而して多きときは5寸にも及び、沈澱物の總量 は261,616立方尺=1,211立坪で、此間沈砂池を通過したる水量は2,239,400立方尺、沈澱物は此の $\frac{12}{100,000}$ に當る。

沈砂池通過後の水は、濁つてゐたが硝子容器に取つて一時間靜止状態に置いて何等の沈澱物を認めない程度であつた。

排砂方法は第一第二制水門から各約 100 個の水を流し沈澱物を洗流する（寫眞第一は八月二日沈砂池本池山手に於ける排砂狀況、第二は八月三日本池川手に於ける推砂狀況を示す。

